

2025 年 9 月 10 日

劇場アニメ
「ルックバック」展
— 押山清高 線の感情

押山清高自らが手掛ける展覧会、麻布台ヒルズ ギャラリーで
2026 年 1 月 16 日(金)より開催！



<「劇場アニメ ルックバック展」ティザービジュアル>

© 藤本タツキ／集英社 © 2024「ルックバック」製作委員会

麻布台ヒルズ ギャラリー(麻布台ヒルズガーデンプラザ A MB 階)は、2026 年 1 月 16 日(金)から 3 月 29 日(日)まで、「劇場アニメ ルックバック展 — 押山清高 線の感情」を開催します。

58 分という短い上映時間でありながら、興行収入は累計 44 億円を越え、国内外で大きな話題を呼んだ劇場アニメ『ルックバック』。その監督である押山清高自らが主催として参加する展覧会の開催が決定しましたのでお知らせいたします。

本展では、押山と本作に携わったクリエイターたちが、どのように原作の世界観を紡いでいったか、という点に着目し、マンガ作品がアニメーション作品として昇華されていくまでの軌跡とこだわりを紐解きます。

本リリースでは、本展に向けた押山清高からのメッセージを初公開します。ぜひご注目ください。

AZABUDAI HILLS GALLERY

PRESS RELEASE

【開催にあたって ―押山清高】

映画『ルックバック』は、抗いようのない時代の変化に対する問いであり、生存戦略でした。AIが絵をはじめ、あらゆるものを生成できる今、なぜ人は、それでも描くことをやめないのか。その問いに、自分の線で答えようとした作品です。

今回の映画では、藤本タツキさんの原作をお借りし、“描くこと”についてアニメーションならではの表現を模索できたのは幸運でした。

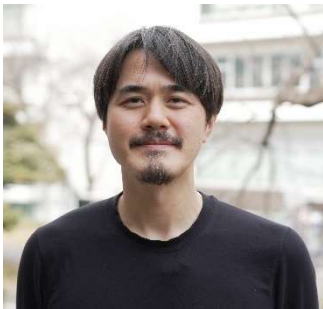
私はテクノロジーを否定するつもりはありません。その力を認めたくえて、それでも描くことを選ぶ人間の衝動や不器用さにこそ、作品の本質があり、残す意味があると信じています。『ルックバック』は、私なりのクリエイター賛歌であり、人間賛歌です。

この展示は、完成した映画の記録ではなく、描かれたもの、描かれなかったもの、その過程でこぼれ落ちた感情や思考の痕跡を今の時代にこそ可視化する試みです。

アニメやマンガは、先人たちの飽くなき探求が積み重なった集合知に支えられています。本作もまたその流れの中にあり、私たちは時間をかけ、間違えながら、さまざまな感情で線を引き続けています。

描くとは、思考の累積であり、身体そのものの表現です。その線には“描いた人”のすべてが宿ります。この展示が、「人が絵を描くとは何か」をあらためて問う機会になればと思います。

◆押山 清高(おしやま きよたか)プロフィール



1982 年、福島県生まれ。
2004 年よりアニメーターとして活動を開始し、2006 年『電腦コイル』では作画監督を務める。その後も数々の作品で監督・脚本・デザインなどを手がけ、多様な表現に携わる。
2017 年にアニメーション制作会社スタジオドリアンを設立し、短編『SHISHIGARI』を制作。2024 年には、監督・脚本・キャラクターデザイン・作画監督・原画を務めた劇場アニメ『ルックバック』を発表した。
著書に『作画大全作画添削教室・押山式作画術増補合本 神技作画シリーズ』がある。

◆劇場アニメ『ルックバック』ストーリー

学年新聞で4コマ漫画を連載している小学4年生の藤野。クラスメートから絶賛され、自分の画力に絶対の自信を持つ藤野だったが、ある日の学年新聞に初めて掲載された不登校の同級生・京本の4コマ漫画を目にし、その画力の高さに驚愕する。以来、脇目も振らず、ひたすら漫画を描き続けた藤野だったが、一向に縮まらない京本との画力差に打ちひしがれ、漫画を描くことを諦めてしまう。

しかし、小学校卒業の日、教師に頼まれて京本に卒業証書を届けに行った藤野は、そこで初めて対面した京本から「ずっとファンだった」と告げられる。

漫画を描くことを諦めるきっかけとなった京本と、今度は一緒に漫画を描き始めた藤野。二人の少女をつないだのは、漫画へのひたむきな思いだった。しかしある日、すべてを打ち砕く事件が起きる…。

AZABUDAI HILLS GALLERY

PRESS RELEASE

■開催概要

展覧会名:「劇場アニメ ルックバック展 —押山清高 線の感情」

主 催:麻布台ヒルズ ギャラリー、スタジオドリアン、エイバックス・ピクチャーズ

協 力:集英社、ミックスグリーン

会 期:2026 年 1 月 16 日(金)～3 月 29 日(日) ※会期中無休予定

会 場:麻布台ヒルズ ギャラリー

(東京都港区虎ノ門 5-8-1 麻布台ヒルズ ガーデンプラザ A MB 階)

公式サイト:<https://www.azabudai-hills.com/azabudaihillsgallery/sp/lookback-ex/>

麻布台ヒルズ ギャラリー公式 SNS

Instagram :<https://www.instagram.com/azabudaihillsgallery/>

Tiktok:https://www.tiktok.com/@azabudaihills_gallery

X(旧 Twitter) :https://x.com/ah_gallery

一般の方からのお問合せ先:azabudaihillsgallery@mori.co.jp

※営業時間、チケット情報等については今後のリリースにて発表予定

【本展に関する記事・報道のお問い合わせ】

「ルックバック展」広報事務局(共同ピーアール内) 担当:星島、中込、安田

TEL:03-6264-2059(広報事務局代表)、

070-4303-7249(星島)、090-7909-5164(中込)

Email:lookback-exh-pr@kyodo-pr.co.jp